



技連協シンボルマーク
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に
結成されました。

第31号 平成18年1月30日

横浜市 技連協だより

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上三寶
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7
電話 045-681-6639 FAX 045-681-0789



謹賀新年

横浜市技能職団体連絡協議会

会長 川上三寶

新年明けましておめでとうございます。

技連協会員の皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、本会の運営に際し、格別なるご支援とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

ご承知のとおり、我が国の経済には明るい兆しが見えてきたとはいえ、決して良好とはいえないものがあります。各会員業界においても活気を取り戻し、景気の回復を実感するには、まだ遠い状況ではないかと思えます。

また、技能職者の高齢化や後継者不足など深刻な問題もあります。この厳しい時代を乗り切るため、私たちが長年の経験で得た技能に誇りを持ち、次世代を見据えた進取な姿勢を崩すことなく、着実に伝統の技と心意気を遺憾なく発揮していくことこそが大切ではないかと思えます。

今年も会員の皆様とともに、「ものづくりの大切さ」「ものづくりの楽しさ」を多くの市民に伝える事業の開催や、青少年インターンシップ事業等を通し、若い人たちに、技能の「すばらしさ」や「尊さ」を伝え、後継者の育成につながる事業にも積極的に取り組んでまいりますので、会員の皆様にはより一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご繁栄とご発展をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

350万市民がごみ減量・リサイクルに挑戦!

ヨコハマはG30



平成18年の年頭にあたって

横浜市長 中田 宏

新年あけましておめでとうございます。

今年も、横浜市民一人ひとりが、健やかに心豊かな一年を過ごせますよう心より祈念しております。

これまで、「民の力が存分に発揮される都市・横浜」の実現に向け、市民の皆さんの御協力をいただきながら、さまざまな改革・改善を進めてまいりました。

昨年来、全市で取り組んでいるG30運動では、皆さんの御協力の結果、ごみの減量に目標を上回る成果をあげ、環境への負荷の軽減にも大きく貢献しています。老朽化していた2つの焼却工場の全面建て替え費用1,100億円と年間30億円に及ぶ運営経費が節減でき、こうして生み出された貴重な財源は、高齢福祉や子育て施策をはじめ、市民生活を支えるさまざまな事業に活用され、市民の皆さんに還元されることとなります。

また、G30を地域コミュニティのきっかけとして、地域での福祉や防犯活動など幅広い分野で「協働」の輪を一層拡げていただくことを期待しています。

本格的な少子高齢社会の到来による福祉ニーズの拡大など、待ったなしの課題が迫っていますが、一人ひとりの市民力と地域力、そして企業・行政の力を重ね合わせ、横浜の明るい未来を築いていきたいと念じております。

横浜市では、現在、20年先を見通した市の基本構想「長期ビジョン」を策定しています。新年早々にも発表する「素案」に対し多くの皆さんから御意見をいただけるようお願いいたします。

開港150周年・市政120周年となる2009年（平成21年）も3年後に迫りました。新しい横浜の魅力や活力を創造し、横浜の再発展を内外にアピールする節目となるよう、皆さんの御協力をいただきながら準備を進めてまいります。

本年も横浜市政への御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

よこはま技能まつりチャリティー益金を 「神奈川新聞厚生文化事業団」へ

平成17年10月2日（日）、横浜公園において「第26回よこはま技能まつり」が開催されました。当日は天候に恵まれ、前年の来場者を大幅に上回る約5万人の来場者がありました。

また、参加団体からは多大なチャリティー益金にご協力をいただきました。「平成17年は国内・外と災害の多い

年でしたので、今、災害などで大変困っている人たちに有効に役立ててほしい」と被災した方々への義援金としてお渡しすることになりました。

11月18日（金）、川上会長・畠山副会長から神奈川新聞厚生文化事業団を通じて被災者へ245,350円を寄贈しました。ご協力していただきました団体の皆さんありがとうございました。

「技能まつり」の
収益金など寄託
厚生文化事業団に

大工さんや畳屋さんら職人さんが熟練の技を披露した「よこはま技能まつり」での会場募金や収益金など二十四万五千三百五十円を、同まつり実行委員会（横浜市中区万代町、川上三重委員長）が十八日、社会福祉のために神奈川新聞厚生文化事業団に寄託した。写真。

同まつりは、衣食住をはじめ、美・理容など生活関連職種を含む市内四十三の技能職団体が参加して十月二日、中区の横浜公園で行われ、五万人の人出でにぎわった。各団体のブースでは、

職員さんたちで組織している、横浜市技能職団体連絡協議会の会長でもある川上実行委員長は「来場者と私たちの心のこもった寄金。有効に使ってください」と話していた。

表具師による手作り和紙封筒が販売されたり、建具職によるカンナ削り実演や体験コーナーもあり、至る所で「職人の技と心」が見られた。



←神奈川新聞記事より

受賞のよろこびの声 技連協関係者の叙勲等の受賞

(敬称略)

黄綬褒章



石川 龍二 (造園技能士) (社) 神奈川県造園業協会副会長

この度の受章は、私個人のものではなく社団法人神奈川県造園業協会や私達造園業者の活動が広く社会に認めていただいた証です。私は代表していただくわけで、この喜びは会員の皆様と共に分かち合いたいと思います。



白川 隆幸 (塗装技能士) (社) 横浜塗装工業会監事

この度の受章は、業界皆さんのお力添えがあって戴けたものと思っております。これまでご指導戴いた皆さんには心よりお礼申しあげますと共に、この受章を糧にこれからも微力ながら今までどおり歩み続けて参ります。今後とも変わらずのご指導のほどお願いいたします。

厚生労働大臣表彰「現代の名工」



小林武一郎 (石工) 横浜石工連合組合顧問

この度、私が石工の「現代の名工」として、厚生労働大臣表彰を受けたことは、誠に身にあまる光栄と存じます。この受賞を契機として、更に業界の若い世代の技能の育成に向けて指導をしたいと思っております。

今後とも、宜しくお願いいたします。

平成17年度技能功労者・優秀技能者を表彰

平成17年11月22日(火)、横浜市技能功労者と横浜市優秀技能者の表彰式が横浜市技能文化会館多目的ホールで開催されました。

当日は、技能功労者84人、優秀技能者87人が表彰されました。

この表彰は、永く同一の職業に従事する功労顕著な技能職者の社会的・経済的評価及び技能水準の向上を図ることを目的に横浜市が実施しています。



第39回横浜市技能功労者表彰式(4班)

今回で39回を迎える技能功労者表彰は、これまで3,948人の方が受賞され、今回で37回を迎える優秀技能者表彰では、これまで4,915人の方が受賞されています。

当日は、横浜市を代表して、技能功労者には本多常高横浜市副市長から、優秀技能者には前田正子同副市長から表彰状の授与と市長からのメッセージの披露がありました。



第37回横浜市優秀技能者表彰式(1班)

横浜市技能功労者の皆様

☆受賞職種 33職種 ☆受賞者 84名

石工植松繁	写真師坂本信	薦職内田勝久
石工武田吉郎	寝具製造業箕嶋興	薦職品田惣二
印章彫刻士大橋勝悦	製菓技術師小野敬二	配管技能士加治龍夫
花卉装飾小泉健治	製菓技術師高橋傳	配管技能士内田邦男
花卉装飾宮本太一	製菓技術師吉野和夫	配管技能士赤荻謙太郎
型枠大工山崎馨	染物洗張沖忠昭	配管技能士平澤捷三
看板製作士平井基夫	染物洗張横山清和	鍼灸・マッサージ師荻原正博
看板製作士内田守彦	造園技能士河原猛	板金技能士金子保久
着付士小中トヨ子	造園技能士井上毅	板金技能士小森稔
クリーニング師山口美彦	造園技能士岡本勝正	美容師新田景子
建築士池内進	畳工技能士池谷光磨	美容師中嶋八千代
建築士佐藤利喜雄	畳工技能士林牧夫	美容師村上利子
建築大工岩澤正行	畳工技能士福山雄三	美容師星洋子
板金技能士新井貞男	調理師長谷川亮	婦人服裁縫師森田香保子
建築大工内田勝也	調理師吉田勇	婦人服裁縫師渡辺トシ子
建築大工富田芳夫	調理師小幡幸雄	屋根職中村勝久
建築大工北村勝美	調理師前嶋宏行	洋服裁縫師田中検二
建築職森秀俊	調理師中澤信亜	洋服裁縫師岩下末吉
塗装技能士久保清一	豆腐製造業森川征之	浴槽設備技能士鷹嶋勝久
左官技能士杉本毅	豆腐製造業秋山孝司	理容師石見和夫
建築大工稲葉文吉	豆腐製造業守屋秀夫	理容師田淵清治
建築大工小松健二	時計修理技術者加藤重夫	理容師廣瀬毅
左官技能士新妻昭雄	時計修理技術者西尾辰信	理容師大濱義久
配管技能士山野木壽	塗装技能士飯野明	理容師小井戸宏
左官技能士水田輝夫	塗装技能士田島馨	理容師中島明高
左官技能士横山勝男	塗装技能士林克之	ワイシャツ加工正根寺哲夫
左官技能士貫洞安男	薦職本間實	和裁師齋藤サヨコ
左官技能士斎藤利雄	薦職岩崎勝明	調理師鳥居芳衣

(順不同)

横浜市優秀技能者の皆様

☆受賞職種 32職種

☆受賞者 87人

石工	立川安男	造園技能士	山田裕之	配管技能士	中山道夫
石工	佐々木康雄	造園技能士	栗原裕	板金技能士	五十嵐桂
石工	野村健二	造園技能士	倉橋仁	板金技能士	間川亮太
印章彫刻士	大橋和正	畳工技能士	白井孝典	板金技能士	福田長幸
クリーニング師	木賀久稚	畳工技能士	伊藤公和	表具師	坂井英樹
建築士	梶原功	畳工技能士	黒川昇	表具師	荒田啓二
建築士	安田和男	建具職	西方久男	表具師	廣澤公昭
建築士	丸茂良樹	調理師	越田昭	美容師	池澤奈美恵
内装仕上工	伊東祥之	調理師	武田光司	美容師	古荘健作
鉄筋工	松井肇	調理師	栗坪重男	美容師	荒井清隆
建築大工	津ノ井昇	調理師	新村正行	美容師	園部正信
建築大工	渡辺節男	調理師	千葉重記	美容師	切詰のぞみ
建具職	大湖博	調理師	富田孝	美容師	前田しづえ
建築大工	熊澤雅則	調理師	原寛	婦人服裁縫師	朝倉啓子
電気工事士	西尾和重	調理師	庄子宏幸	婦人服裁縫師	後藤和子
造園技能士	堀田潔	電気工事士	穴戸章夫	ブロック建築	武田益栄
建築職	東純一	電気工事士	伊藤本之	ブロック建築	北井規之
型枠大工	星野茂	豆腐製造業	澁谷弘三	浴槽設備技能士	雪野泰弘
土木職	五十嵐満	豆腐製造業	高橋利雄	理容師	三橋規夫
タイル技能士	白田雄一	眼鏡調整士	小野明夫	理容師	大河原聡
建築大工	菊池隆	鳶職	古澤健	理容師	鷹羽誠一
建築大工	小川保	鳶職	加藤裕治	理容師	新野健二
左官技能士	松本有司	鳶職	武川明弘	理容師	石渡司
左官技能士	弓納持信一	鳶職	坂本武	理容師	打矢善弘
写真師	高野順子	鳶職	相澤淳一	理容師	島森洋一
写真師	大井理恵子	捺染型製造技術者	山崎浩貴	理容師	望月哲哉
製菓技術師	加藤哲治	配管技能士	渡部弘海	理容師	松澤正雄
製菓技術師	石井浩	配管技能士	石田朗	理容師	池亀洋一
造園技能士	遠藤敦	配管技能士	鈴木清彦	バーテンダー	山本津代志

(順不同)

全国技能職団体連絡協議会に参加して

開催都市：富士市（富士技連）

日時：10月26日（水）～27日（木）

参加者：川上三實会長・中澤俊男副会長・
飯野忠明副会長

テーマ：①平成17年度新規事業・重点事業
②技能職を広くアピールする活動
③地域貢献・ボランティア活動について

中澤副会長：

全国的に、同じような活動ですが、マイスター制度を取り入れている都市はまだ少なく、富士市が今年度から始めたところだそうです。

「技能まつり」については他都市でも集客は多いようですが、特に、横浜にはこんなにもたくさんの技

能職があるという事をいかに知ってもらえるかが今後の課題ではないかと思えます。富士市の多くの職人さんと職種の話で交流を深めてまいりました。

飯野副会長：

各都市共に、技能職を市民に広くアピールする活動については「技能フェスティバル」や「ものづくり教室」など活発な事業展開をされている様子がかがえました。

ボランティア活動については、まだ実施団体も少なく今後の課題ではないかと感じました。来年は藤沢市、再来年はいわき市での開催予定を確認して解散となりました。大変有意義な一日でした。

第8回横浜マイスターまつり開催

平成17年11月27日（日）、横浜産貿ホールで、第8回「横浜マイスターまつり」が開催され、約4,000人の市民が来場しました。

横浜マイスターまつりは、技能職の後継者育成及び技能職の社会的評価の向上を図ることを目的として開催されています。

今年は、横浜マイスターが誕生して、ちょうど10年になります。今回は31人の横浜マイスターが盛大に、卓越したすばらしい技能を披露、体験コーナーでは特に小中学生を対象に「ものづくり」や道具を実際に使った「体験教室」を熱心に指導していました。



タイルのコースターづくり

～ 青少年インターンシップ事業経過報告 ～

横浜市青少年育成協会

横浜市より受託して実施し、技連協にご協力いただいている事業です。3月まで受け付けます。

12月20日現在、婦人服裁縫師、建築、美容師、捺染型製造技術者の事業所のご協力により、12名が実習を修了、青少年にとって貴重な体験となっています。

▼ 美容師体験 — 専門学校生 —

やりたいことを迷っていたので申し込みました。事業所の人たちは優しく、カットなどの技術も見ている楽しかった。今は美容師を目指してみようという気持ちになりました。

▽ 受入先

美容師になるまでの過程などを話しました。この仕事に興味を持ってやってみたいと思う気持ちになってくれたので嬉しかった。今後もできる限りの応援をしてあげたいと思います。

▼ 捺染型製造技術体験 — 大学院生 —

普段体験できないことをさせてもらい、身近なところで物が一つ一つ手作業で作られていることは新しい

発見でした。職人の技術の高さと、仕事への熱意、こだわりを感じることができ、物の見方が変わりました。

▽ 受入先

すぐに職場に打ち解け、仕事の要領も得ていました。物作りは小さな工夫の積み重ねで成り立っています。そこが見えてくるともっと楽しい体験になったと思います。

▼ 婦人服裁縫師 — 大学生 —

基本から丁寧に教えていただきました。やってみるととても楽しくてのめり込んでしまいました。

▽ 受入先

仕事を軽く思わない努力が大切。研究心を持って物事を見つめることが大切です。そこから発想が生まれます。

受入事業所の方々には本事業の趣旨をご理解頂き、意欲的に関わって頂いていることに感謝しております。今後ともご協力をお願い申し上げます。

職人から学ぶ講座

受講生の声

「プロから学ぶ秋の洋菓子作り」に参加して

講師団体 横浜市社交飲食喫茶技能連合会

開催 平成17年11月20日(日)

◎ケーキ作りは大好きで、いろいろな型や飾りものなど、ついつい買ってしまいます。今回のケーキ作りはノエルでしたが、今まで自分で使ったことのないクロレラや、中身を変えることでたくさんの違った味のケーキが楽しめることを教えていただきました。

デコレーションもプロの技を盗んで、これからも自分なりにケーキ作りを楽しみたいと思います。



洋菓子作り

「お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作り」に参加して

講師団体 横浜豆腐商工業協同組合

開催 平成17年11月27日(日)

◎本職のお豆腐屋さんから、家庭でもできるお豆腐作りを教えていただきました。我が家は、お豆腐大好き家族なので、家庭で本当に美味しくできるのか、多少不安で参加しましたが、先生のテンポの良い説明と実演で本当に滑らかで美味しいお豆腐ができ、その日は自作のお豆腐を家族で食べました。

豆腐を作る過程でできる「豆乳」「おから」も自分で作るからこそ手に入る副産物です。とても楽しく参加できました。



豆腐作り

受講生の声

職人が学ぶ講座

「パソコン講座」に参加して

開催 平成17年11月18日～11月29日(全4回)



◎職人が学ぶパソコン講座は午後1時から4時という時間帯と4日間出席という事で仕事の予定も入っていたこともあり、一寸考えましたが、これからの時代必要になると思い参加することにしました。参加者が少なかったこともあり、一人ひとり丁寧に分かりやすく、楽しく受講できました。また、機会があったら是非参加したいと思います。有意義な4日間でした。

◎パソコンと聞いただけで私たち中年組には、まだまだ、とっつきにくい分野でした。

しかし、仕事を手早くこなすには、なくてはならないものと思い、いつも、主人頼みの見積書や請求書を自分でも作成できるように参加しました。なかなか思うようにいきませんが、先生のマンツーマンのご指導で何とかできるようになりました。これからもこのような講座をぜひ企画していただきたいと思います。

平成17年度 職人から学ぶ講座

今後の予定

▽「経師屋さんから学ぶ掛け軸風色紙掛け」 講師団体 横浜表装インテリア協会

2月12日(日) 午後1時から4時

▽「プロから学ぶペンキ塗りのコツ」 講師団体 (社)神奈川県塗装協会

3月12日(日) 午前10時から午後4時

問合せ先 横浜市勤労福祉財団 企画事業課 TEL.681-6639

後継者育成に向けて

神奈川県造園業協会

鉄砲垣講習会の開催

会 場：金沢区 旧川合玉堂別邸・二松庵他
主 催：庭園部会・教育研修委員会・大胡横浜マイスター
日 程：6月18日（土）・25日（土）・26日（日）の3日間
参加者：県域青年部会員

金沢区にある旧川合玉堂別邸・二松庵の鉄砲垣の復旧を主題とした青年部会員向けの実践的講習会を実施した。

1日目は、鉄砲の立子を巻く、2日目は、杭を立て胴縁を取り付け、立子をかきつける。3日目は、イボ取りと仕上げを行った。丹精こめて作成した鉄砲垣を各自感慨深く写真に収め意義のある体験講習会であった。



鉄砲垣講習会

青年部の活動

●青年部四市交流会に出席して

11月27日（日）、富士市技連協青年部の主催による四市技連協青年部交流会が静岡県富士市にて開催されました。お茶処、静岡県富士市で、日本茶インストラクターによる「おいしいお茶の楽しみ方」の体験をさせていただきました。

普段、何気なく飲んでいる日本茶の美味しく、かつ栄養価を最大限に引き出す抽出方法等、いろいろと役立つ講義と実習を楽しみました。

忙しく慌ただしい日々が流れる昨今、お茶を飲むときぐらひは心を落ち着かせる余裕を持ちたいものだと感じさせられました。

富士市技連協青年部の皆様、ありがとうございました。

●青年部講演会について

11月25日（金）、横浜市技能文化会館で青年部講演会を開催しました。講師に横浜市総務局危機管理対策室管理課長の荒巻照和氏を迎え「いざというときに備えて」と題して、横浜市の危機管理の取り組みについての説明、そしてわが家の危機管理マニュアルとして、特に今、気になる地震について日頃からの備え、また起きた時にどうするかなど、今、知りたい本当に役に立つお話をさせていただきました。

●青年部が創立30周年を迎えます！

みなさまのあたたかいご支援のもと、技連協青年部は、30年の歴史を刻みます。ありがとうございました。

また、これからも応援よろしく願いいたします。

※3月26日（日）午後3時から、ホテル横浜ガーデンにて記念式典を行います。

技連協の今後の行事

◎技連協ボウリング大会

日 時 平成18年2月28日(火)
午後6時15分スタート

会 場：新杉田ボウル

参加申込みは、2月14日（火）まで。



事務局からのお願い

日頃より、「技連協だより」に、ご協力いただき誠にありがとうございます。各団体でのいろいろなイベントや活動がありましたら、事務局までお知らせ願います。

問合せ先

横浜市技能文化会館内
横浜市勤労福祉財団 企画事業課
TEL. 681-6639
FAX. 681-0789